



東海大学大学院 医学研究科

教員紹介

領域(医学部組織)
法医学

専門分野キーワード
法医病理学

教員氏名	垣本 由布 (かきもと ゆう)
取得学位	博士(医学)
現在の身分 (役職名)	准教授
専門分野	法医学、法医病理学
現在の研究課題	剖検検体を用いた心臓突然死の病態解明
所属学会	日本法医学会、日本病理学会、日本循環器学会、日本法医病理学会、 日本 SIDS・乳幼児突然死予防学会

研究内容

法医学では様々な原因で亡くなった人の死因究明を行っています。本人から症状を聞くことができず、心電図などの生理学的な検査が行えない死後診断においては、残された組織を分子病理学的に解析して死因の特定を目指します。しかし、多くの突然死の原因と想定される致死性不整脈を、死後に確定診断できる方法は今のところありません。

致死性不整脈の発症リスクを正確に診断できる分子病理学的マーカーが発見できれば、死後にその人が不整脈で死亡した可能性が高いことが分かるだけでなく、生前に突然死のリスクを評価して、突然死の発症予防にも役立てることができます。そのような分子病理学的マーカーの発見を目指して、主に剖検組織検体を用いた研究を行っています

主要論文

1. Kakimoto Y, Ueda A, Ito M, Tanaka M, Kubota T, Isozaki S, Osawa M. Proteomic profiling of sudden cardiac death with acquired cardiac hypertrophy. *Int J Legal Med.*2023.
2. Kakimoto Y, Asakura K, Osawa M. Cutoff value for hypertrophic heart weight in the Japanese population. *Leg Med.* 2021.
3. Kakimoto Y, Sasaki A, Niioka M, Kawabe N, Osawa M. Myocardial cathepsin D is downregulated in sudden cardiac death. *PLoS One.* 2020.
4. Kakimoto Y, Okada C, Kawabe N, Sasaki A, Tsukamoto H, Nagao R, Osawa M. Myocardial lipofuscin accumulation in ageing and sudden cardiac death. *Sci Rep.* 2019.
5. Kakimoto Y, Tanaka M, Hayashi H, Yokoyama K, Osawa M. Overexpression of miR-221 in sudden death with cardiac hypertrophy patients. *Heliyon.* 2018.

○独自に作成されているホームページURL

<https://forensic.med.u-tokai.ac.jp/>